
キミを守るから。

ルキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

キミを守るから。

【コード】

N3108I

【作者名】

ルキ

【あらすじ】

新たな日々が始まる。

新たな日常

.....。

「.....お嬢さま.....お嬢さま。朝ですよ、お嬢さま」

もう朝???

「あ.....」

体を伸ばし、目を擦る。

「お目覚めですか?? ユイお嬢さま」

ん.....?? この人誰.....てか、お嬢さまって誰???

つつつ!!

「あなた誰?! どうして、私の部屋にいるわけ?!」

私はかなり動揺していた。

目の前に見たこともない男性が立ってるわけだから。

そんな私の姿を優しく微笑み浮かべて見ていた男性が私に近づいて来て、私の目の前でひざまづき頭を下げた。

「自己紹介が遅れ申し訳ございません。この度、海藤ユイお嬢さまにつかえることになりました。執事の白阪葵しらいちかあおいと申します。ユイさまの身の回りのお世話などを行わせていただきます。」

私はポカーンとなっていた。

いやいや！お嬢さまって何？？おかしいでしょ！

そっか！分かった。これは夢だ。

夢に決まってる。

私はまた布団に寝てみたが覚めることはなかった。

「嘘でしょ！？私がお嬢さまなんて」

「間違いなどではありません。正真正銘ユイお嬢さまです」

「嘘だよ……こんなの」

「嘘じゃないわよ」

えっ???

声の聞こえた方を見ると、扉の所にお母さんが立っていた。

「あなたはお嬢さまになったのよ。今日から」

「今日から??」

「そう。お母さんね、再婚したの。その家が大富豪でね。もうその人の家なのよ」

もうその人の家???

私は理解できなかった。

お母さんは私が答える前に次々話出した。

「あなたは今日から新しい学校に行くことになったわ。もう学校の手続きも済んでるから。あなたは、学校の宿舎に住むことになったから。あなたの面倒は葵がみてくれるから。分かった???」

なによそれ……。

わけわからない……。

私には選ぶ権利もないわけ？おかしいでしょ……そんなの。

涙を堪えて下を見てみると、葵が私の顔を見てこう言った。

「今は辛いかもしれませんが、あと少しの我慢です。私は、ユイお嬢さまの味方です」

そう言う葵は、私の手を握り歩き出した。

私は、葵に手を引かれるままついて行った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3108i/>

キミを守るから。

2011年1月28日10時12分発行